

静岡県環境放射能測定技術会（令和4年度第2回）会議録

1 開催日・場所等

日時	令和4年10月11日（火）13:30～15:30
方法	Web会議
出席者	構成員：加藤危機管理監代理兼危機管理部部長代理ほか13名
議事	<p>議事</p> <p>(1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第194号（案）</p> <p>(2) 静岡原子力だより194号（案）</p> <p>報告</p> <p>(1) 令和4年度第2四半期浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果速報</p> <p>(2) 浜岡原子力発電所の現況</p>
配布資料	<p>資料1 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書 （令和4年4月～6月）（静岡県環境放射線監視センター）</p> <p>資料2 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書 （令和4年4月～6月）（中部電力(株)浜岡原子力発電所）</p> <p>資料3 浜岡原子力発電所の運転状況等（中部電力(株)浜岡原子力発電所）</p> <p>資料4 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第194号（案）</p> <p>資料5 静岡原子力だより194号（案）</p> <p>資料6 令和4年度第1四半期浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果速報 （静岡県環境放射線監視センター及び中部電力(株)浜岡原子力発電所）</p> <p>資料7 モニタリングステーション空間放射線率検出器の更新について （中部電力(株)浜岡原子力発電所）</p> <p>関連資料1 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査解説資料</p> <p>関連資料2 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第193号</p> <p>関連資料3 静岡原子力だより193号</p> <p>中部電力報告資料 浜岡原子力発電所の現況</p>

2 審議事項

- (1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書  
（令和4年4月～6月）
- (2) 浜岡原子力発電所の運転状況等（中部電力(株)浜岡原子力発電所）  
測定機関が、資料1（環境放射線監視センター）、資料2・3（中部電力(株)浜岡原子力発電所）により測定結果を報告した。

<質疑応答>

構成員：冒頭に記載されている「過去の核爆発実験等の影響に…」という文章について、言おうとしていることは納得できるが、文章の読み方によっては、後段の「東京電力(株)福島第一原子力発電所から放出された放射性物質の影

響が加わったもの」という部分が、未だに大気中に出てきていて、その影響が乗っかっているという意味の文章にも読める。同様の趣旨の文章が他の資料においても記載されているので、次回以降、この部分の書き方を工夫した方がよい。

監視センター：文書の表現の方法について、次回以降検討する。

構成員：環境試料中のγ線放出核種の分析について、海産生物の全ての魚種においてヨウ素が測定対象になっていない。緊急時の対応への練習も含めて、ヨウ素の測定も必要ではないか。

監視センター：現在の周辺調査においては、海産生物 10 試料のうち、第 4 四半期に測定するワカメのみヨウ素の生測定を実施している。また、線量評価とは別に、緊急時の備えというところで、緊急時になるべく近い形で、生測定等のバックグラウンド測定をやっている。UPZ 圏内の各市町から要望があった試料を対象に実施しており、その中でシラス、桜エビが入っている。周辺調査ではないが、その目的に合った測定になるものと考えている。

<審議結果>承認。

(3) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第 194 号（案）

事務局が、資料 4 により、浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第 194 号（案）を説明した。

<質疑応答>なし。

<審議結果>承認。

(4) 静岡原子力だより 194 号（案）

事務局（原子力安全対策課）が、資料 5 により、静岡原子力だより 194 号（案）を説明した。

<質疑応答>なし。

<審議結果>承認。

### 3 報告

(1) 令和 4 年度第 2 四半期浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果速報

測定機関（環境放射線監視センター及び中部電力株）が、資料 6 により令和 4 年度第 2 四半期浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果速報を説明した。

また、中部電力株が、資料 7 により、モニタリングステーション空間放射線率検出器の更新について説明した。

<質疑応答>

構成員：資料7において、更新する検出器は、NaI 検出器か、電離箱か、その両方か。概ね何日間、代替の可搬型モニタリングポスト装置で測定するのか。

中部電力：今回は、NaI 検出器のみの更新を予定している。交換の期間は、一局舎につき2、3日程度を予定しており、長くても1週間以内を予定している。

構成員：資料6添付2において、「廃液の放出状況」と記載があるが、意図して廃液を放出することがあるのか。

中部電力：発電所内で廃液が少量ずつ発生しており、それを放出することがある。ただし、放出する前のある程度の量をタンクに集め、そのサンプルを取って放射能が一定以下であることを確認してから放出をしている。

構成員：放水口モニターへ放出するということか。それとも、他の所へ出すということか。

中部電力：発電所から排出する廃液は、全て放水口を通して海水に排出しているので、放出した廃液は全て放水口モニターを通して海まで出ていくことになる。

構成員：放水口モニターのサンプリングポンプに関して、放水路に海水が逆流しないような構造になっているのか。

中部電力：放水路では、通常、取り入れた大量の海水を発電所側から海側に放出しており、逆流が生じることはない。

(2) 浜岡原子力発電所の現況

中部電力(株)が、中部電力報告資料により、浜岡原子力発電所の現況について説明した。

<質疑応答>なし。

以上